

●ロシア・ノボシビルスク市への出張について

姉妹都市であるロシアのノボシビルスク市を初めて秋元市長が訪れます。

ノボシビルスク市と札幌市は昨年姉妹都市提携 25 周年を迎え、昨年 10 月にはノボシビルスク市のアナトーリ・ローコチ市長が来札されましたが、秋元市長は公務の都合のため訪問することができませんでした。このたびの訪問は、あらためてローコチ市長からノボシビルスク市創立記念日「まちの日」（毎年 6 月最終日曜日）に合わせて招待を受けたため、訪問するものです。

「まちの日」記念式典への参加のほか、全天候型サッカー場や交通機関等の視察、山鼻南小学校とノボシビルスク市の小学部との姉妹校提携調印式などを行います。

1 訪問先

ロシア・ノボシビルスク市

2 訪問日程

6月22日（水）～27日（月）

3 訪問団メンバー

- (1) 市長訪問団：秋元市長、菅井 留美子山鼻南小校長、国際部職員3人 計5人
- (2) 市議会議員訪問団：恩村 一郎副議長、議員10人、議会事務局職員2人 計13人

4 主なスケジュール予定

- (1) ノボシビルスク市創立記念日「まちの日」記念式典等参加
- (2) アナトーリ・ローコチ ノボシビルスク市長表敬訪問
- (3) 全天候型サッカー場「ザリヤー」、市内交通機関（地下鉄）等視察
- (4) 山鼻南小学校姉妹校提携調印式

5 山鼻南小学校姉妹校提携調印式について

山鼻南小学校がノボシビルスク市の4番ギムナジウム（小学部）と姉妹校提携を結ぶ調印式を行う。

山鼻南小学校は同市と縁が深く、過去にも同市の別の小学部と学校交流を行っていた実績があるほか、同市で日本語を学ぶ青年達による「ノボシビルスク日本語青年訪問団」が交流のため、毎年同小学校を訪問している。

今年度新たに両校の交流が開始されたことから、姉妹校提携を結ぶことになった。提携後は手紙や写真、児童が作った作品の交換などを通じた国際交流を行っていく。

<参考：近年の姉妹都市交流の取り組みについて>

(1) 姉妹都市提携記念事業

相互理解や友好親善の促進等を図ることを目的に、5周年ごとに両市が相互に訪問団を派遣している。平成27年の姉妹都市提携25周年事業では、ノボシビルスク市訪問団が来札した際に、市内の中学生から姉妹都市交流の将来像について実体験を踏まえた提言を行う記念式典・祝賀会を開催したほか、日本文化体験などの交流を行った。

(2) 少年交流

① 姉妹都市少年交流事業

平成3年度からの「ノボシビルスク少年交流事業」に、平成22年10月に札幌と姉妹都市提携を結んだ韓国・大田広域市を加え、平成23年度から実施。相互理解と友好親善を深め、国際的視野の広い少年少女の育成を図ることを目的に、3年ごとに各都市の中学生・高校生の派遣・受け入れを行っている。

② 国際親善ジュニアスポーツ姉妹都市交流事業

姉妹都市へスポーツ選手団を派遣し、5年に1度、全ての姉妹都市から選手団を札幌市に招請し、交流事業を行っている。直近では、平成25年6月に柔道選手団10人をノボシビルスク市へ派遣し、「スポーツ・芸術・知性 国際子ども大会」の柔道種目に出場したほか、地元の学生と様々な文化交流を行った。

(3) 学術交流

① 札幌・ノボシビルスク・大田姉妹都市科学シンポジウム

ノボシビルスク市・大田広域市から講師を招き、北海道大学で低炭素社会と再生可能エネルギーについてのシンポジウムを平成25年11月に開催。

問い合わせ先

総務局国際部交流課 小池

電話：211-2032、ファクス：218-5168